

Press Release

2015年3月12日

「坂ノ途中 soil ヨヨギ garage」3月30日オープン！

—「やさい⇄暮らし」をキーワードに、サスティナブルな暮らしを提案—

株式会社坂ノ途中（京都市南区 代表取締役：小野邦彦）が、2015年3月30日、東京初の店舗「坂ノ途中 soil ヨヨギ garage」をオープンします。

キーワードは「やさい⇄暮らし」。環境負荷の小さい農業を追求してきた株式会社坂ノ途中が、バリエーション豊かな彩りある野菜たちや丁寧につくられた生活雑貨を取りそろえた店舗で、手触り感のある持続可能なライフスタイルを提案します。

仕掛け人は坂ノ途中で「お野菜ディレクター」を務める柳澤孝明。2014年まで株式会社良品計画にて旗艦店のマネージャーや食品バイヤーを歴任した経歴を持ちます。前職での経験や出会いを活かし、坂ノ途中が得意とする個性的な野菜だけでなく、暮らしの道具や手作りの加工品などを取りそろえたマーチャンダイジングを行います。

当社はこれまで「百年先も続く、農業を。」をコンセプトに、環境負荷の小さい農業を広げべく事業展開してきました（概要は次ページ）。その活動を通じて、環境への負担の小さい、だけど窮屈ではなく温かみのあるライフスタイルを提案し、より多くの消費者に当社の取り組みを知ってもらおう場所が必要だと考えました。これが、このたび東京に出店することにした動機です。

店舗概要は以下の通り。廃材を利用した看板が目印です。



〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社坂ノ途中

担当：小野・柳澤

メール：info@on-the-slope.com

電話：075-200-9773 FAX：075-200-9774

〈株式会社坂ノ途中 会社概要〉

環境負荷の小さい農業を営む若手農家や新規就農者を増加させ、農業の持続可能化を達成することを目的とし、2009年7月に設立された企業です。

実は、環境への負担の小さい、持続可能な農業を志し新規就農を目指す方は増えていますが、たいいていの方は就農までたどり着きません。就農を果たしたとしても、多くの人は続けられずに辞めてしまいます。新規就農で確保できる農地は小規模だったり水はけが悪い等条件が良くないことが多く、彼ら/彼女らが栽培する農産物は（農業者の栽培技術にはほぼ無関係に）少量だったり不安定になりがちです。そのため一般的なバイヤーから見て新規就農者は「つきあいにくい相手」と映ってしまうのです。

当社はこの問題を解決すべく、新規就農者を中心に60件程度の農業者と提携し、作付けの計画から共に立てていくことで、一軒一軒では少量で不安定でも、グループ全体としてはまとまった数量を安定的に供給できるという体制を構築してきました。この取り組みにより、新規就農のハードルは大きく下がつつあります。

持続可能な社会のカタチを例示すべく2012年からはウガンダにて有機農業普及事業を、新規就農者増を加速させるべく2013年からは京都にて育成機能を持つ自社農場の運営をスタートさせています。

農業の担い手不足や環境問題の深刻化から、坂ノ途中の地道な取り組みが注目される機会も多くなり、2012年には代表の小野が世界経済フォーラムより global shapers に選出されるなど、賞をいただくことやメディアに掲載していただくことも増えてきました。

本社： 〒601-8311 京都市南区吉祥院西ノ庄東屋敷町 126

代表者： 小野邦彦（代表取締役）

創業： 2009年7月21日

資本金： 4,990万円(資本準備金含む)

URL： <http://www.on-the-slope.com/>

事業内容： ハンドメイドな野菜の販売

自社農場「やまのあいだファーム」の運営

ウガンダでの有機農業普及

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社坂ノ途中

担当：小野・柳澤

メール：info@on-the-slope.com

電話：075-200-9773 FAX：075-200-9774